

図表 4 8 事業系及び家庭系の食品廃棄物発生量、再生利用量の主要国比較

項目	日本	各国の食品廃棄物発生量、再生利用量						
		米国	英国	フランス	ドイツ	オランダ****	韓国	中国
食品廃棄物発生量 (農業生産段階・有価物を除く)	17 Mt	56.4 Mt	12 Mt	9.99 Mt -13.27 Mt	10.97Mt	2.52 Mt -3.73 Mt	5.9 Mt	103 Mt
うち可食部分*	6.4 Mt	-	9 Mt	4.692 Mt -6.02 Mt	-	1.35 Mt -1.99 Mt	-	-
再生利用量	13.8 Mt	20.4 Mt	2.5 Mt**	3.7 Mt -4.94 Mt	>4.49 Mt***	-	5.5 Mt	>9 Mt***
人口1人当たり食品廃棄物 発生量	133.6 kg	177.5 kg	187 kg	148.7 kg -200.5 kg	136 kg	149.9 kg -222.9 kg	114 kg	75.74 kg
人口1人当たり再生利用量	108.0 kg	64.2 kg	39 kg**	55 kg -74.7 kg	>56 kg***	-	108 kg	>6.62 kg***

※出所：各国の各種統計・調査、および流通経済研究所の推計による。日本の数値は、農林水産省「食品廃棄物等の利用状況等(平成 24 年度推計)」を用いた推計。斜字体部分は推計値、または参考値。

・フランス、オランダは、「可食部分」のみのデータから「潜在的可食部」「非可食部」を含む数値を推計(参考値)。

・また、フランスは発生量に各セクターの再生利用率(参考値)を乗じて、再生利用量を推計(参考値)。

\*フランスの「可食部分」数値は、「可食部分」のみで「潜在的可食部分」は含まない。ドイツの「可食部分」数値は、「avoidable」「partly avoidable」の合算値。オランダも、「avoidable」「potentially avoidable」の合算値。

\*\*英国の「再生利用量」の数値範囲は、「Recycling (AD/composting)」のみ。「飼料化」は「Redistribution (humans & animals)」に、「耕地への鋤き込み(飼料化)」は「Recovery (thermal, landspreading)」に含まれ、個別の数量が不明のため算出範囲に含まれていない。このため、実際の「再生利用量」はここに記載された数値よりも大きくなると考えられる(参考値)。

\*\*\*ドイツ、中国の「再生利用量」「人口 1 人当たり再生利用量」は、「飲食店・機関係(食堂等)」と「家庭」のみの数値であり、「食品製造業」「卸売業」「小売業」の数値は不明のため含まれていない。このため、実際の「再生利用量」「人口 1 人当たり再生利用量」は、ここに記載された数値よりも大きくなると考えられる(参考値)。

\*\*\*\*オランダの数値には、「卸売業」が含まれていない。また、「小売業」の数値はスーパーマーケットのみの推計値。スーパーマーケット以外の小売業が含まれておらず、その分だけ数値が小さく出ていると考えられる(参考値)。

(注) 各国の調査手法や食品廃棄物の定義などが異なるため、単純比較はできない点に留意されたい。